

川崎中央トラック運送事業協同組合

新型コロナ禍により、定例会議が中止に。
Web会議、テレワークを導入。

オンライン化で会議時間の短縮化が促進。
会議資料もコンパクトにまとめるようになった。

1 従来の課題

Task

従来、組合運営のための各種会議を一つの会議室に会員企業17社が集まって開催していましたが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発令に伴い、定例会議の開催を中止、書面決裁で対応していました。その中で、会員全員を対象にアンケート調査を実施したところオンライン開催を希望する方が10人いることが分かり、2021年5月頃からオンライン会議の体制の整備を進めました。

緊急事態宣言が発令された当初は、事務局員も交替制で在宅勤務や自宅待機などの対応を行いましたが、自宅でも通常業務ができる機器や体制の整備についても課題として挙げられていました。

2 取組概要

Approach

コロナ禍でも定例会議の開催を可能にするため、ノートパソコン、液晶テレビ、テレ



ビスタンド、マイクスピーカー、会議用広角カメラを各1台導入し、オンラインで会議ができる環境を整えました。10月に機器を導入し、11月からオンライン会議を開始しましたが、本会館の中に加入社が8社入居しているため、会議室で参加する人もおり、その場合は三密状態にならないようソーシャルディスタン

スをとるなど感染予防の工夫を徹底しました。最初はオンラインに慣れておらず、抵抗感をお持ちの方もいましたが、現在では半数以上がオンラインで参加しています。



カメラの映り方などは問題ありませんでしたが、一番のネックは音声でした。始めた当初はパソコンの設定でスピーカーを認識していないなど、音声のトラブルが多かったため、「聞こえる」、「聞こえない」というサイン板を作って音声のチェックを実施、それでも声の小さい方の音声が聞き取りづらいためヘッドフォンの使用を推奨、カメラやスピーカー、ヘッドフォンがない企業には組合から貸し出して使ってもらうなど対応を重ねました。事務局員のテレワーク推進のためにも、デスクトップパソコン3台をノートパソコンに更新するなど体制を整備しました。

3 実施効果

Effect

オンライン会議の導入によりコロナ禍においても組合運営を柔軟かつスピード感をもって推進することができました。またオンライン会議の導入により考え方や方向性が変わってきたことも印象的です。会議室で会議をしていた頃と比べると、短い時間で結論を出せるようになり会議時間の短縮につながっています。テレワークの推進で事務局員4人がノートパソコンを共有し、補助資料やメール作成のテレワークを輪番制で実現、感染リ

COMPANY PROFILE

- 業 種 事業協同組合
- 事業内容 共同施設、共同給油、共同金融
- 設 立 1974年6月
- 代 表 者 代表理事 高橋 浩治
- 所 在 地 川崎市川崎区浅野町1番5号
- 事務局員数 7名

<http://www.chuoutruck.net>


スクの低減とあわせて、残業時間や往復通勤時間の削減を実現しました。

入出金処理や、組合に併設するガソリンスタンドの利用者への請求書発行等、個人情報



報に関連する業務についてはコンプライアンスの観点から出社して業務に従事してもらいましたが、今後も改善を進めテレワーク可能な事務局員の増員と自宅での業務拡大を推進して参ります。

Web会議・テレワークの導入による効果

会議資料作成の削減時間数

1枚あたり1分×180枚/日=180分

会議資料のコピー用紙削減枚数

11月実績 400枚 → 231枚 = 169枚削減

在宅業務による往復通勤時間の削減時間数

1回・人あたりの削減時間=2時間/回・人



成功要因

緊急事態宣言解除後、会議室で集まって開催する会議の所要時間も短くなっています。その背景として短時間で分かりやすい資料を心がけ、資料自体をコンパクトにまとめることができたことがあります。



社員の声

オンライン会議の導入による会議資料の削減は、緊急事態宣言が解除された後も普通に行われており、資料作成や印刷に要する時間を減らすことができました。

今後の展開

コロナ収束後もオンライン会議の流れは変わらないと感じています。年1回の総会、2年に1回の理事長の退任・就任に関する会議などは全員参加が必要ですが、それ以外の皆が集まる必要がないような会議であればオンラインで済ませようというトレンドが生まれました。今後は資料ゼロを目指して、画面共有時に見やすい資料の作成に取り組んでいこうと思っています。

協同組合では、『相互扶助による相互支援』を理念とし、組合員事業者が相互連携を深めつつ、より円滑な事業運営と諸課題の克服に向けた取り組みを行うことが重要だと考えております。そのため、独自のスタンドを持って軽油・ガソリンを調達し、協同購入により安く組合員に供給しています。また、コロナワクチンの集団接種を行うなど、横の交流も盛んに行っております。今回コロナ禍でオンライン会議を導入しましたが、今後も各組合員への働きかけや使用方法の指導等を継続して行うことで、オンライン会議の出席者を増やすことを目指していきます。

代表理事 高橋 浩治

